

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

中期経営戦略

新たな価値の創造とグローバルサステナブル社会を支えるNTT。リアルとオンラインが共存した働き方・ライフスタイルを実現。

全社EBITDA
20%増加成長分野EBITDA
40%増加海外営業利益率
10%ROIC
9%

② 中長期の経営戦略

1. IOWN研究開発・実用化

光電融合デバイスの早期事業化と6G含むIOWN研究開発を加速。2025年大阪・関西万博でIOWN APN提供。2026年商用化めざすIOWN 2.0は電力効率を従来比8倍に。

3. パーソナルビジネス強化

金融・ヘルスケア・メディカル分野でサービス拡充・高度化。データ・ドリブンなアプローチからパーソナライズされたサービス提供へ。

2. 非通信事業の成長

クラウド・AI等の総合ICT事業セグメント・グローバル・ソリューション事業セグメントで迅速なポートフォリオ強化。既存通信事業に加え成長が不可欠。

4. 企業向けソリューション展開

AI・ロボット、IOWN・デジタルツイン、セキュリティ等の技術を活用してグローバルで展開。生活や社会を支える産業を変革。

③ 対処すべき課題

① デジタル化の負の側面对策

- 消費電力増大への解決策として光電融合デバイス早期事業化
- 監視社会などの課題に対処する必要性

② 顧客体験（CX）高度化

- CXカンファレンス開催でCX重視を推進
- モバイル品質向上で期待を超える新体験を提供
- 研究開発マーケティング本部中心にプロダクトアウト強化

③ 従業員体験（EX）高度化と文化醸成

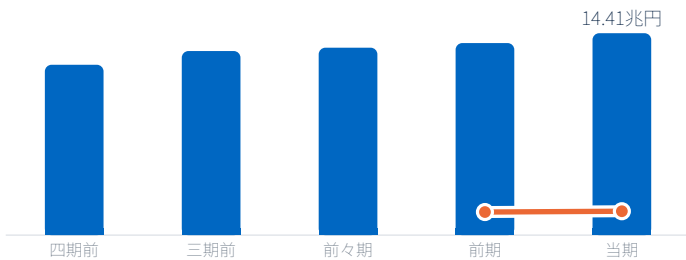
- 専門性軸の人事制度・資格支援・キャリアコンサルティング充実
- トライ&エラー・失敗を恐れず挑戦する文化醸成
- 女性新任管理者登用率毎年30%以上を目標

面接で使えるポイント

- IOWN技術で電力効率を従来比8倍に実現し、デジタル化の負の側面に対処している点。
- 成長分野EBITDA+40%増加（2027年度）目標で非通信事業を拡大するビジョン。
- 従業員エンゲージメント率改善と女性管理者登用率30%以上で多様性と人が価値を生む好循環を実現。

証券コード 9432

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
14.41兆円営業利益率
11.8%財務健康度
51点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 63.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,056万円

情報・通信業内 26位/592社

平均年齢
41.4歳

情報・通信業内 136位/593社

平均勤続
15.6年

情報・通信業内 28位/593社

女性管理職
12.7%

情報・通信業内 205位/373社

男性育休
113.3%

情報・通信業内 14位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

